かしこく　やさしく　たくましく

国際感覚を身に付け、確かな学力と人間性を備えた児童生徒の育成

めざせ！南十字星

笑顔があふれ，しあわせを感じられる学校

学 校 便 り

令和７年１０月学校行事号

ヨハネスブルグ日本人学校

南アフリカでの校外学習の意義と子どもたちの成長

１０月３日金曜日、G1 から G4 の児童たちは、南アフリカ・ヨハネスブルグ近郊にある Rietvlei Zoo Farm へ校外学習に出かけました。外国という異文化の地にありながら、安全に配慮しつつ、計画的に実施されたこの校外学習は、子どもたちにとって貴重な体験となりました。

当日は、少し暑さを感じるほどの快晴に恵まれ、子どもたちはのびのびと活動に取り組むことができました。事前学習や準備を経て臨んだこの日、動物とのふれあいや乗り物体験を通して、自然や命の大切さを肌で感じることができました。馬に乗る体験では、緊張しながらも勇気を出して挑戦する姿が見られ、トラクターが引く馬車やミニ電車では、班ごとのルールを守りながら楽しむ姿が印象的でした。動物への餌やりでは、ヤギや羊に優しく手を差し伸べる子どもたちの姿が見られ、命あるものとの関わり方を学ぶ良い機会となりました。また、待ち時間が長くなっても、辛抱強く順番を待つ姿勢には、日頃の生活習慣の積み重ねが感じられました。

昼食後には、自分でおやつを購入する場面もあり、言葉やお金のやり取りを通して、異文化の中での自立心を育む場となりました。満足そうな表情でおやつを頬張る姿は、子どもたちの達成感と喜びを物語っていました。

このように、南アフリカという外国の地においても、事前の準備と安全への配慮をもって校外学習を実施することは、子どもたちの成長にとって大きな意義があります。自然とのふれあい、異文化体験、そして仲間との協力を通して、子どもたちは一歩ずつたくましくなっていきます。今後も、こうした体験を大切にしながら、学びの幅を広げていきたいと思います。

校外での学習の目的を見事に達成できました！